

【コース】 社会と医学

【コースディレクター】

CD：高田 綾(法医学)

【コースの概要】

社会と医学コースは、つぎの4ユニットで構成されている。

1. 疾病の予防と対策
2. 環境と健康
3. 社会医学実習
4. 異状死の診断

【目 標】

社会における医療の役割を理解し、医療は社会の一部であるという認識を持ち、経済的な観点・地域性の視点・国際的な視野等も持ちながら、公正な医療を提供し、公衆衛生の向上に努める。

医師の使命は、医療・医学を通して国民の公衆衛生の向上に資することにある。患者を誠実に診療することが医療の基本であり、そのための医学知識の習得や技術の修練が必須であることはいうまでもない。しかし、一方で、医師はつねに社会的視野をもって活動すべき使命を有していることも忘れてはならない。診療自体が、社会的活動の一部ということもできよう。

全人的な視点、地域の視点、人生の視点、社会の視点からのアプローチを理解し、個人と社会のウェルビーイングを実現する。

社会と医学の係わり合いはきわめて広範であり、本コースはその一部をカバーしているに過ぎないかもしれない。教科書以外の関連書籍もできるだけ紹介していくので、興味をもって積極的に目を通すよう心がけて欲しい。また、「ヒトの病気」「良医への道」などにも関連する内容が少なからず含まれているので、それらを統合しつつ、理解を深めるように努力することが必要であろう。

【学習方法】

1 学期および 2 学期に講義、実習を行う。詳細は、各ユニットの項を参照のこと。

【評価方法】

所定の講義ならびに実習を修得し、4 ユニットすべてに合格することがコース合格の必須条件である。（ただし、評価方法については、各ユニットのオリエンテーション等で明示するので、その内容を最終的なものと考えて欲しい。）

【コース・ユニットについての質問】

学習の過程で、疑問点はその都度解決していくことが望ましい。また、興味を深めるために教員とコンタクトをとることも歓迎する。ただし、試験情報や試験結果の照会には応じない。